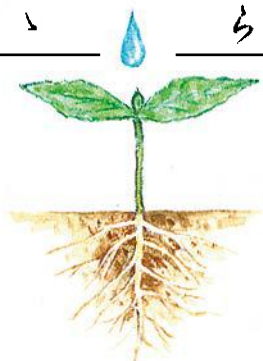


漢方 内科 小児科 産科 婦人科 浮田医院 だより



第 40 号

発行所：漢方 浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

(パソコン) <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>

(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>

e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp

発行日：2003年2月5日(水)

発行者：浮 田 徹 也



漢方薬のよさ(40)

アトピー性皮膚炎

I

鬼は外～



本当の意味の二〇〇三年になりました。ゆっくり、急がず、地道に、まことの力をつけた人が認められる時です。ウサギのようにピョンピョン跳ねて先を急ぐ必要はありません。一歩でもいいや半歩でも少しずつ歩く事が大切です。体の不調や病気も一気によくならないかも知れませんが、でも、少しずつ変化すればよいではありませんか。

雪景色の美しいこの地方です。特に、対岸の伊吹山、後に控える比良山系、マキノのメタセコイヤの並木道、在原の民家、朽木の興聖寺などの雪に埋もれた風景には感動させられます。3月は、美しく香ばしい梅の季節です。特に、マキノの願慶寺や海津天神社の梅は、色といい、香といい申し分ありません。今年はどうな梅に出会えるかわく

ワクしています。

今月はアトピー性皮膚炎についてお話しします。

この原因は、急性と慢性アレルギーである接触性皮膚炎、皮膚のバリア機能異常で水分保持が不良となった皮膚、紫外線やダニ、



梅の願慶寺

カビなどの微生物やストレスなどです。入学試験、いじめ、就職などの時に悪化することがよくあります。漢方医学は、体やこころのゆがみを治すことが一番と考えています。しかし、痒みとジクジクした状態はこころや体に苦痛を与え、眠れなくしますから、先ず苦痛な症状を治療し、不安な気持ちや神経の高ぶりを抑え、ある程度皮膚の状態が治ってきたら、アレルギー体質や乾燥肌の治療を実施しています。ご家族の方々は、苦しんでおられる方が素直に物を言えるふん囲気(ふんいき)の家庭になるような心がけてください。

では、実例を挙げましょう。

二三歳男性、アトピー性皮膚炎。顔、胸、腹、背中、手足が赤く(紅斑)、盛り上がり(痒疹)、引掻き傷からは汁(浸出液)が出、皮膚全体はガサガサ(乾燥)です。顔色は赤く、お腹は緊張気味で両側腹直筋緊張、右肋骨下とみぞおちに抵抗圧、下腹部中央は弾力性に乏しい。脈は大きく、力があり、舌は淡白色、薄い白苔、舌下静脈の怒張。そこで、消風散、





黄連解毒湯、桔梗石膏、太乙膏、アズノール軟膏を処方。二週間後、赤みは取れたがかゆみやジクジクは変わらないため、消風散、越婢加朮湯、桔梗石膏に変更。二ヶ月後、皮疹は乾燥、補中益気湯、薏苡仁に変更。一年後、補中益気湯、四物湯、薏苡仁に変更。三年後、少しザラザラの部分が残っている。現在も服用中。

五七歳男性、二〇年来のアレルギー性鼻炎。今まで抗アレルギー剤を飲んでいたが、効かなくなつた。顔色は普通、腹は硬く、心下部に抵抗とジャブジャブ音。脈は浮いて速い。舌は淡紅色、無苔、湿っている。そこで、小青竜湯と附子を処方。一週間後、クシャミ、鼻水、鼻づまりなどなくなり、三ヶ月服用して中止。翌年、翌々年、一月より四月まで服用。その後中止しているが、五年後の現在、症状が出現してもごく軽い。

二六歳女性、高校生の頃から過敏性腸症候群。朝食後四〜五回下痢や軟便。外出時にも二〜三回下痢や軟便。顔色は青白く、腹は柔らかく、心下部や臍の両

側に抵抗、臍の下は軟弱。脈は細いがピンと張っている。舌は淡紅色、薄い白苔。そこで、半夏瀉心湯を処方。二週間後、ほとんど症状が消失。二年後の現在も服薬中。

三五歳女性、生理痛。顔色は赤く、両眼下にくま、腹力は普通。左右の下腹部に抵抗と圧痛。脈は沈んで力があり、遅い。舌は湿り、暗紅色、薄白苔、舌下に太い静脈。そこで、折衝飲、サフランを処方。二ヶ月後、鎮痛剤がいらなくなつた。六ヶ月後、生理痛は消失。二年間服用して廃薬。五年後の現在も生理痛はない。

私の書斎の黄梅は一月の初めに咲き始め、春の訪れを一足先に告げてくれました。原産地の中国では、迎春花とも呼ばれています。わが国には江戸時代の始めに紹介されたそうです。派手さはありませんが、凛とした姿がこころをくすぐり、今この時を象徴しているように思われます。

今回は、**四診**についてです。

〔院長〕



アレルギー性鼻炎

1〜5月頃、8〜10月頃の季節に発症すると年中症状のある人がおられます。花粉、ほこり、動物の毛、気温、感情の変化の影響が大きいと思われます。鼻水、鼻づまり、クシャミの激しい時の漢方薬と症状の発現を押さえる漢方薬があります。



過敏性大腸症候群

漢方医学では、「心」と「小腸」は表裏の関係にあり、「こころ」の苦痛が「腸」に表れます。「下痢タイプ」「便秘タイプ」「下痢便秘交替タイプ」があり、冷え、緊張（ストレス）、感情（怒り）、水毒（むくみ）を調整する漢方薬を処方します。



生理痛

子宮内膜症や子宮筋腫やクラミジア感染症などの原因、また、冷えや血液循環障害、胃腸虚弱、精神不安、便秘や下痢などの原因で起こります。検査（血液、尿、子宮頸管分泌物、超音波）や診察（問診、四診〔腹、脉、舌〕、内診）で漢方薬を選びます。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～60分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膀胱炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗がん剤使用後倦怠感、抗がん剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、陰分泌、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

処置診

処置、検査、点滴、針、スーパーライザーをご希望の方、診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き処置の欄にチェックして下さい。

皮内針

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。
・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリスク

在宅訪問診療とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に(月に2～72回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。在宅診療についてお気軽にご相談下さい。

漢方入浴剤

美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

寝たきり老人在宅総合診療とは

病院及びその他あらゆる老人用施設に入所できず、家庭で家族が介護している人の家に行き、居宅療養のお手伝いをする制度です。費用は1割の負担になります。介護保険に制約されません。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午 (月～土)	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	—
午後5:30～午後7:30 (月、水、金)	○	—	○	—	○	—	—

- ◆漢方外来(月～土)：内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科・・・など全科
- ◆更年期外来(月・夕方)：更年期の方、思春期の方(女性、男性、どなたでもお越し下さい)
- ◆不妊外来(水・夕方)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
- ◆妊婦外来(火、金)：妊婦健診、妊娠中の方(火)午前11:00～正午は赤ちゃん健診、産後健診
- ◆助産婦相談(第2、3金)：妊婦相談、乳房相談、育児相談 午前8:40～午後12:30(日程は掲示)

前期と中期-母親教室

日時：2月7日、3月7日(金)、4月25日(金)

対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)

場所：当院1階 申込方法：申込ノートでご予約して下さい。

後期-母親教室

日時：2月5日、19日(水)、3月5日(水)、19日(水)

対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)

お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

「プロフィトロール」(Profiterole)はプチシューで、アーモンド風味の香ばしさがあります。

ダブルスイートチョコレート(Duble sweet chocolate)は、チョコレートとココアパウダーのマフィンチョコレートをたっぷりコーティングしました。

バレンタインの贈り物にぴったりです。



妊 娠 中 の 腹 痛

子宮、卵巣、腸、膀胱、盲腸などのどこに痛みがあるかを診断することが大切です。診察(問診、内診)、検査(超音波、尿、血液、膣分泌物など)をして診断します。具体的には、流産、早産、便秘、膀胱炎、卵巣腫瘍、卵管炎、虫垂炎、胆石、胃潰瘍などが問題になります。必要に応じて、生活の指導や薬(内服薬、点滴)が必要になります。



分娩予約

当院で分娩を予定しておられる方、できるだけ早く受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カード**と**予約金5万円**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**をお渡しします。

立会い分娩

あらかじめ、**受付**でお申し込み下さい。

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて、ウッキー! Dr.ウッキーの悩み相談、婦人科、産科、漢方、友達に教える、外来診療のご案内などを掲載(i-mode対応)。

パソコンホームページ (<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

漢方のページ(症例多数、漢方について) 産婦人科のページ、当院の案内、当院への交通、周辺の観光地など掲載。

助産婦相談

妊娠中、分娩、母乳、育児の相談と健診の説明。お一人おおよそ15～20分に対応します(無料)。

日時：第2、3金曜日 午前8:40～午後12:30

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。

日時：毎週火曜日 午前11:00～正午(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

従業員募集

看護婦、助産婦(常勤、パート)。面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。